

ビオトープの「ほたる」が光り始めました！

紫陽花やカタツムリの梅雨の6月が残り少なくなりましたが、畑の「トマト」は色づき始め食べごろを迎えています。また「なす・枝豆・ぶどう・ブルーベリー」等も日増しに大きくなってきて、クッキングコーナーも忙しくなりそうです。オープンカフェで麦茶を飲みながらも、湿度が高く子どもたちも汗をかきながら自分の興味のある活動に夢中になって取り組んでいます。特に過日の「お父さんとの交流」をきっかけに、一段と活発な姿が見られるようになってきています。

そんな中、過日「東武よみうり」新聞でニュースになった「こどものもりのビオトープ」に放流された「ほたる」が、夜の9時頃より「青いひかり」で遠慮がちに光り始めました。夜ですので、子どもだけでは見られませんが、お寺の裏の通路より入ってソロっと見に来てください。

うまく発見できればラッキーですね。7月5日(土)6日(日)の緑の丘公園でのホタルまつりにも是非ご家族そろってお出てください。



「インド」「韓国」「アメリカ」からも見学のお客様が続々続きます！

今日本では大きな教育改革に直面していて、「認定こども園」という新しい制度が平成27年4月より動き出します。従来の「幼稚園」と「保育園」をそのまま残していくのか、一体とした幼児教育を選ぶか、設置者にとって大きな決断が迫られています。当園は既に平成13年より埼玉県認定第1号であり、幼保が一体となった温かな園として全国のモデル園であり、更に園長が全国認定こども園協会の代表という立場から、多くの園から高い評価をいただいていることもあり次々に見学者が続いています。

6月は、4日に東京家政大学より4名、9日に岩波映像4名、栗橋さくら幼・こども邑より4名、11日に群馬保育連合より38名、12日愛媛より2名、13日葛飾四つ木より3名、17日東洋こども邑4名、19日インド・ケルガルより3名、20日栗橋さくら幼・こども邑5名、ふらっと保育園4名、23日所沢ひまわり幼1名、25日「認定こども園塾」38名等々です。また7月1日韓国国務省4名、3日文京大学+アメリカより5名、7日石川小松すみみ幼8名、8日大阪浦戸保8名等々が続きます。



インドのお客さま達と

当園での子ども主体と木々に囲まれた幼保一体の温かな保育環境を少しでも子どもに生かしていただければと願っています。

清美先生と圭恵先生が新しい保育システムの勉強に出かけています！

去る6月22日(日)より28日(土)の1週間ですが、フランスとイタリアの新しい保育システムの勉強に出かけています。今外国の保育の方向は自園のみでなく自治体と保護者と共に地域の子育て力を高めていくことに取り組んでいます。特にイタリアの「レッジョ・エミリア」という地域と共に子育てに取り組んでいる実践方法は世界的に有名です。明るい報告が楽しみです。

